

## I - 資産

1 取引先の信用度を検証する方法で適切でないものはどれか。

- a) 信用調査機関による評価結果が良好であるかを検証する。
- b) 会社の資本構成が良好であるかを検証する。
- c) 取引金融機関との間にトラブルが発生していないかを検証する。
- d) 取引先の支払手段が手形であるか否かを検証する。

2 与信管理に関する説明で適切でないものはどれか。

- a) 与信管理では、商品等の販売に先立って取引先の経営状態を把握し、信用限度額の設定を行う。
- b) 与信管理とは、売掛金及び受取手形残高を回収可能な範囲内にとどめるための手段である。
- c) 与信管理は営業部門で実施するものであり、経理部門でこれを実施すべきではない。
- d) 与信管理では、商品を販売するときに取引先に担保や保証を要求する場合がある。

3 担保の説明に関して適切でないものは次のうちどれか。

- a) 担保には、「物的担保」と「人的担保」がある。
- b) 担保とは、債務者の特定財産が、法律上債権者の債権の引当になっていることをいう。
- c) 「人的担保」には保証債務、身元保証、連帯保証、連帯債務、債務引受がある。
- d) 「物的担保」には、抵当権は含まれない。

1 売掛債権管理 1.1 与信管理 正解：d

取引先の信用度の検証は、以下のようなデータに基づいて行われる。

①定性的データ

定性的データには、信用調査機関による評価結果、対象企業の資本構成・主な取引先、取引金融機関との関係等が含まれる。

②定量的データ

定量的データには、売上高、経常利益、有利子負債など決算書から入手可能なデータの時系列推移、総資産利益率、手元流動性比率、仕入債務回転率等が含まれる。

そこで選択肢を見ると、(a)、(b)、(c)は全て定性的データに含まれているのに対して、(d)の「取引先の支払手段が手形であるか否か」だけでは信用度の検証方法としては不十分である。したがって、正解は(d)。

1 売掛債権管理 1.1 与信管理 正解：c

与信とは、売買などの商取引や貸付などの金融取引において、取引相手に「信用を供与する」行為である。

与信管理においては、新規取引先に対する与信の可否の判定、新規（又は既存）取引先に対する与信限度額の設定（又は見直し）及び代金回収状況のチェック等を行う。また(d)にある通り、必要に応じて取引先に担保や保証を要求することも与信管理業務の一環である。

(c)で「与信管理は営業部門で実施する」とあるが、営業部門の役割は各取引先の動向を継続的にモニターし、適宜経理部門に報告することであり、与信管理そのものは経理部門が実施すべき業務である。したがって、正解は(c)。

1 売掛債権管理 1.1 与信管理 正解：d

担保とは、債務者の特定財産が、法律上債権者の債権の引当になっていることをい

- い、
  - ・物的担保（留置権／先取特権／質権／抵当権）、及び
  - ・人的担保（保証債務／身元保証／連帯保証／連帯債務／債務引受）
- がある。したがって、正解は(d)となる。